



7月審査後から8月の夏休み期間中、豊総生は様々なイベントに参加しました。

本校の特色がわかる取り組みの数々を紹介します！

環境建設工学科3年土木類型

ものづくりコンテスト
近畿大会測量部門
出場 8/21 但馬ドーム

第3位！



何度も練習したので、本番は緊張しつつ自分たちのペースで頑張りました。実技部門は今まで練習した中で一番速く、一番でゴール！全国大会を逃したのは残念でしたがよい経験になりました。

(小畑 仁)

環境建設工学科3年土木類型

コンクリートカヌー
競技大会出場

8/24 円山川公苑

左右の厚さのバランスや、コンクリートの固さの調節が難しかったです。5人で話し合い力を合わせて作りあげました。(杉山 杏次)



舟をイメージした着色！



環境建設工学科3年建築類型

豊岡市工業会主催イベント
ものづくり体験に
協力参加 7/28 アイティ



小学生と一緒に木製ふてばこ作り♡



電気研究部

全国ソーラーラジコンカー
コンテスト in 白山(石川県)
出場 8/1~3



今回は予選敗退に終わりましたが、後輩がより良い車の形や回路を研究しているので、来年は頑張ってほしいです。(古田蒼空)



部員募集中！
電気研究部と一緒に作りましょう！

総合学科3年総合的な探究の時間

「豊岡昔ばなし講座」
海外の高校生と交流

7/1 本校



Long long time ago...

アメリカの高校生に七夕のお話を語り、一緒に折り紙をして七夕飾りを作りました♪



総合学科3年「保育基礎」選択者

ふれあい育児体験

7/23・24 近隣保育施設



豊岡病院出前講座
ふれあい看護体験

7/ 17 本校



医療系希望者が参加

Art &

2024県展

県内一般公募展
アマチュア美術家らの
登竜門!

入選
真鍋 莉胡
「雲外蒼天」



豊岡市美術展



高校の部 絵画

商工会議所会頭賞
岡本 葵
「猫かぶりな私共へ」

夢中になるという言葉
を初めて実感した作
品です。この絵を見た人
に猫かぶりは誰もが持
つ振る舞いなのだと思
えたいです。

高校の部 書道

特選
加藤 ひさみ
「臨書譜」



暗い雲の向こうには青空があると
信じて、たくさんの波を越えてきた
船のように、未来に向かって進んで
いきたいという思いを込めました。

但馬美術協会会長賞
加藤 歩奈
「変貌」



特選
小坂 雫「水槽」



特選
井上 優里
「本当の自分はどれ？」

但馬美術展

佳作賞
柿本 大武
「溢れ出る生」



特選
柿本 大武
「2年前の僕へ、
そして未来へ」

特選
木多見 凌平
「冬の散歩道」



県吹奏楽コンクール但馬地区大会 金賞 連盟賞

このコンクールは私たち3年生にとって最後の大会だったので、このような結果はとても嬉しいものでした。

県大会でもそれぞれが今まで練習してきたことを出しきり、とにかく笑顔で楽しんでベストな演奏ができました。3年間一緒に部活をした仲間や先生方、普段支えてくれた家族、友だちには感謝の気持ちでいっぱいです。

最高の思い出に残るコンクールでした！ 部長 藤井 結愛



県大会出場

県スピーチコンテスト但馬支部予選

第2位 應供 和

Crucial Steps toward Our Future

内容の要約

Through my two-year experience living in Vietnam, I developed a deep interest in the importance of SDGs, particularly poverty issues and gender equality. Among the girls I met there, some couldn't attend school due to economic reasons, and I witnessed how women were responsible for most household duties and childcare. These challenges are not just issues in distant countries; even in Japan, relative poverty and gender disparities persist. The 17 SDGs are interconnected, and our daily actions as the younger generation will be the first step toward a better future as we approach 2030.

(和訳)

ベトナムでの2年間の生活体験から、SDGsの重要性、特に貧困問題とジェンダー平等に深い関心を持つようになりました。現地でも出会った女の子たちの中には、経済的な理由で学校に通えない子もいて、女性が家事や育児の大部分を担っている現状を目の当たりにしました。これらの課題は遠い国だけの問題ではなく、日本でも相対的貧困やジェンダーの格差が存在しています。SDGsの17の目標は互いにつながっており、私たち若い世代の日々の行動が、2030年に向けてよりよい未来への第一歩となるのです。

大会に向けて練習を重ねる中で、単なる暗記ではなく、自分の言葉として伝えることの大切さを学びました。

大会前はとても緊張していましたが、本番では不思議と落ち着いて堂々と話すことができました。他校の生徒のスピーチも素晴らしく、自分にはない視点や考え方を学べるいい機会になりました。但馬で2位という成績を収めることができ、とてもうれしく思っています。

将来は国際関係の大学への進学を目指しており、この経験を活かして英語学習に一層励み、進路実現に向けて頑張っていきたいです。

